

みやこ南瓜ほ場確認検査を実施しました

古河市総和地区の「みやこ南瓜」は、茨城県銘柄推進産地に指定されています。栽培の歴史は古く、100年以上の歴史があります。品種は「みやこ」に統一し、完熟果をそのまま出荷します。

本作型はトンネル早熟栽培で、受粉期が4月中旬から5月中旬にあたり、人工受粉と訪花昆虫による受粉が行われています。

5月22日、29日に古河市、JA茨城むつみ及び県西VFステーションと連携し、収穫期を推定するためカボチャ生産者のほ場を巡回し、着果と生育を調査しました。調査した結果は、ほ場ごとに生産者と情報共有し、適期収穫につなげます。

本年度、「みやこ南瓜」の出荷は5月下旬から開始され、6月下旬から7月中旬にピークを迎えます。

坂東普及センターでは、今後も関係機関等と協力して、高品質・安定生産に向けた指導を行い、意欲ある生産者への支援に努めていきます。



写真. カボチャほ場確認検査の様子 (5/29)

令和7年6月12日 坂東地域農業改良普及センター 米倉（成長産業）